

対 策 計 画 書			
届出者	住所	大阪市鶴見区今津北3丁目3番8号	氏名 株式会社 ワイヤーク 代表取締役 橋本 忠
特定事業者の主たる業種		24金属製品製造業	
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要		<p>当社は、鶴見区に本社及び大阪工場第1製造部、西淀川区に第2製造部、石川県加賀市に加賀工場の3製造所体制で事業を営んでいる。 主に、線材を伸線加工して鉄線を販売するほか、亜鉛めっき鉄線及び有刺鉄線などに加工して販売している。</p>	

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間				
2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日 (3年間)				
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量			6,486 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)			6,718 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)			6,295 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))			6,520 t-CO ₂	
		選択	目標削減率 (排出量ベース)	%
		レ	目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)		3.0 %
目標削減率に関する考え方				
<p>平成29年度を基準年度とし、平成30年度～平成32年度の3年間で原単位ベースで3%の削減目標を計画しました。 第2製造部では、大阪工場への移転・統合計画があり新たな投資は控えています。これまでに実施した省エネ対策の成果を維持していきます 従って、第1製造部を中心とした対策計画としています。</p>				
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量				
目標年度における吸収量		t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(生産量)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>エネルギー管理統括者、月初に工場長以下製造部責任者全員で「全体会議」を開催し前月の生産状況、エネルギー使用量や原単位などを報告、原単位が悪化の場合は対策の検討・実施を行っています。また生産工程を組む際、できるかぎり生産量を集約して集中稼働を行うなどの対策を行っています。</p>
--

対策計画書			
届出者	住所	大阪市西区江戸堀1-3-20	氏名
			株式会社ワキタ 代表取締役社長 脇田貞二
特定事業者の主たる業種		70物品賃貸業	
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要		建設業者を主たる貸出先とする、ダンプカー、クレーン付きトラックなどのレンタカーを事業とする	

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2018年 4月 1日～ 2021年 3月 31日 (3年間)			
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量			2,566 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)			2,566 t-CO ₂
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)			2,490 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))			2,490 t-CO ₂
		選択	レ
		目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %
目標削減率に関する考え方			
<p>レンタカー事業は継続して拡大方向で燃費の悪い低年式車の廃棄と低燃費車を積極的に導入することにより温室効果ガスの削減に努めてまいります。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量		t-CO ₂	吸収量による削減率
			%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>車輛の入れ替えの際には、低燃費車の導入と低年式車の廃棄を効果的に実施できるよう、営業推進部が主となって会議で協議する。</p>
--

対 策 計 画 書			
届出者	住所	名古屋市千種区内山三丁目23番5号	氏名
			ワシントンホテル株式会社 代表取締役 内田 和男
特定事業者の主たる業種		75宿泊業	
該当する特定事業者の要件	レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ホテル業・飲食店業・物品販売業・ホテル経営コンサルティング 大阪府内にホテル3店舗、レストラン1店舗を出店しております。	

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2018年 4月 1日～ 2021年 3月 31日 (3年間)			
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量			3,388 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)			3,662 t-CO ₂
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)			3,288 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))			3,553 t-CO ₂
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
	目標削減率 (平準化補正ベース)		3.0 %

目標削減率に関する考え方

本対策計画書では、CO₂の目標削減率を大阪市内に立地する主な事業所として、新大阪ワシントンホテルプラザその他事業所としてR&Bホテル梅田東・R&Bホテル新大阪北口 (平成29年11月開業) 及びチャイナテーブル千里店の年間総排出量ベースを選択する。

既存店、新店ともに客室の照明LED化の省エネ対策は既に完了している。他に省エネ対策の為の機器導入予定はない。目標削減率は目安の3.0%とし、エネルギー使用関連設備の稼働方法 (時間、温度、運転方法など) の管理による削減に取り組む。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

エネルギー使用関連設備の稼働方法 (時間、温度管理、運転方法など) の管理を徹底する。

対 策 計 画 書

届出者	住所	東京都新宿区富久町13-19	氏名	わらべや日洋株式会社 代表取締役 大友 啓行
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		コンビニエンスストア向け、おにぎり・弁当・寿司、麺、チルド弁当、すしの製造を行っており、大阪府エリアで2工場運営しております。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間		2018年 4月 1日～ 2021年 3月 31日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		8,289 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		8,774 t-CO ₂
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		8,570 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		9,070 t-CO ₂
選択	目標削減率 (排出量ベース)	%
	レ 目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
	目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

当社は弁当、おにぎり製造を中心に事業活動を行っていることから、本計画書では、売上金額を母数に排出原単位を設定し、目標年度である平成32年度において、大阪府内において温室効果ガスを3%(原単位ベース)削減する目標を掲げるとともに、総排出量についても削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (売上金額)

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

・温暖化対策に取り組むため、毎月の水光熱使用量を本社に報告し、現状改善などを検討しており、本体制を継続してまいります。